

# SDGs への取り組み : こども学科

<b>目標</b>	こども学科においては、教育・福祉両面に渡る発達支援、子育て支援を担う専門職を目指し、乳幼児期を中心とした保育、幼児教育に関する教育研究を行い、高い専門性を持ち自ら学び続けることができる保育者を育成することを通してSDGsの目標達成に貢献しています。
<b>授業での取組事例①</b>	<p><b>認定こども園での実習、学外実習に向けて教材作成</b>                  (授業科目名) 保育実習指導Ⅰ「認定こども園基本実習」 (担当教員) 鈴木翔太 講師 他</p> <p><b>【活動目標】</b>                  子どもたちが喜ぶ姿を思い浮かべ、よりよい教材作成体験を通して、ものをつくることの大切さについての理解を深める。</p> <p><b>【活動概要】</b>                  授業での学びを活かし、子どもの興味・関心や発達段階等に配慮しながら学生が自ら考え多様な材料を用いて教材の作成を行った。</p> <p><b>【成果】</b>                  保育において活用できる教材を、学生それぞれに工夫を凝らして作成した。実習やボランティア活動など、保育現場での活動時に利活用している</p>  
<b>授業での取組事例②</b>	<p><b>廃材を使ったお店屋さんごっこへの取り組み</b>                  (授業科目名) 保育内容指導法(人間関係) (担当教員) 鈴木智子 准教授</p> <p><b>【活動目標】</b>                  ・「異年齢保育」おみせやさんごっこにおける指導計画案の作成                  ・身の回りの廃材を利用した製作活動を通してごっこ遊びの指導方法を理解する</p> <p><b>【活動概要】</b>                  異年齢保育におけるおみせやさんごっこへの取り組み</p> <p><b>【成果】</b>                  市販されているものではなく、身の回りの生活廃材が子どもたちにとっては製作活動の素材として多くの可能性を持つことを実感する事はとても重要あり、「つくる責任」や「つかう責任」について考える機会になるとともに、質の高い教育の実現にもつながっている。</p>  
<b>学生の取組事例</b>	<p><b>小学校児童への読み聞かせ体験</b>                  (活動団体) 読み聞かせプロジェクト、こども学科2~4年生                  (担当教員) 二谷京子 准教授・細川梢 准教授、鈴木翔太 講師                  (連携先) 瀬上小学校 (活動時期) 令和4年9月~ 継続中</p> <p><b>【活動目標】</b>                  ・本学学生が「読み聞かせ」を行うことを通して、技能の向上と自らの感性を磨くとともに、「言葉の力」やコミュニケーション能力を向上させる。                  ・こども学科の学生が瀬上小学校の児童に「読み聞かせ」を行うことにより、子どもたちの豊かな感性や心、知的好奇心を育み、「言葉の力」の基礎を培う。</p> <p><b>【活動概要】</b>                  瀬上小学校 毎週金曜日「読書タイム」(8:05~8:15)を活用して実施する。対象学年は小学校1、2、3年生とし、こども学科2~4年生が2名1組となって各クラスに入り読み聞かせをする。</p> <p><b>【成果】</b>                  読み聞かせを通して他者を理解したり物語をイメージしたりすることは、新しい世界を創造していく上での原点であり、国や文化が異なる人の作品に出会い、そこに込められた願いを理解する活動は、国際理解や世界平和にもつながっている。</p>  